

# 沼田学園開園！！

～沼田ならではの新たな教育スタイル～

生涯  
学習

ゆめ  
つくる

よりよい学校生活をめざして！

「小中教職員ハイパ°-QU 研修会」開催！！

～道内第一人者、北翔大学学長 山谷 敬三郎氏をお招きして～



▲6月19日、沼田中学校にて、小・中教職員合同「ハイパーQU研修会」が行われました。

## 1 楽しい学校生活を送るためのアンケート「ハイパーQU」とは？

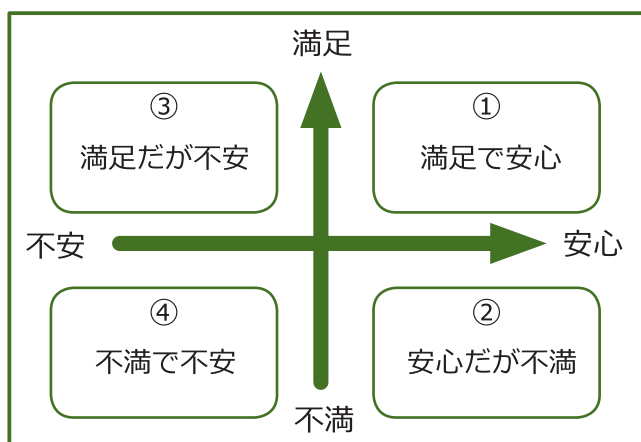
ハイパーQUとは、早稲田大学教授 河村茂雄氏によって考案された教育アンケートです。沼田学園では、小学2年生から中学3年生までの8学年で取り組んでいます。この日は、道内のハイパーQUの第一人者、北翔大学学長 山谷敬三郎氏をお招きして、活用方法について、研修を深めました。ハイパーQUは、子供達から「いごちのよい学級、やる気のある学級」をつくるためのアンケートを取り、分析結果から学級づくりの方向性を明らかにします。小中の教職員が、それぞれの学年の分析結果を共有し、児童生徒一人一人の個性と学級づくりの指導の大きなヒントを得ることのできた素晴らしい研修会となりました。

## 2 「ハイパーQU」のねらいとは？

- (1) 児童・生徒理解のため・・・子供一人一人と学級の姿が、客観的・具体的に見えます。
- (2) 校内連携を促進するため・・・子供一人一人と学級の支援について校内連携（チーム力）が進みます。
- (3) 校内支援体制づくりのため・・・一年間を通した支援サイクルと体制づくりに役立ちます。

## 3 分析結果の例

～プロット図（個人と集団が点で表示された図）の見方～



- (1) 一人一人の児童生徒が、①～④のどの状態にいるのかが明らかになり、今後の指導の方向性（伸ばす、ほめる、聞く、緊急対応等）が、早期に教師間で共有できます。
- (2) 児童生徒の分布の形で学級の傾向が見えてきます。（満足型、なれあい型、荒れ始め型、崩壊型等）これらについても、担任1人で背負い込むのではなく、教職員間で連携した指導を行ないます。

～沼田学園は、小中一貫・連携して進みます～

このページに関するお問合せ…沼田町教育委員会 ☎35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <http://blog.canpan.info/numakyoui/>

